

『第 6 回総会』開催報告及び準備組合の設立について

令和 8 年 7 月 4 日（土）に第 6 回総会を開催しました。

第 6 回総会では、昨今の社会情勢等を要因として事業費が増加する見込みである一方で保留地単価は減少見込みであるため想定平均減歩率が上昇となることと、今後の事業推進にあたっての課題等について、事業協力者より説明をいたしました。

総会での説明を踏まえ会員の皆様にご回答いただきましたアンケートを元に、役員・事業協力者にて準備組合の設立について検討を行いました。その結果、事業費の精査も含めて詳細に検討するため、準備組合を設立する必要があると判断しました。つきましては、会員の皆様には改めて準備組合設立総会のご案内をさせていただきます。

引き続きまちづくりへのご理解とご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

第 6 回総会の内容

● 開催概要

【日時】 令和 8 年 7 月 4 日（土）
10 : 00 ~ 11 : 00

【場所】 高田集会所

【出席】 会員数 55 名
出席数 38 名（書面出席を含む）

【テーマ】

- ・ 現状の説明と将来予測を踏まえた平均減歩率上昇の見通しについて
- ・ 本事業の推進にあたって

【当日の様子】



事業推進に係る意向アンケートを実施しました！

今回、総会の開催にあたり、会員の皆様には総会説明資料と合わせて「事業推進に係る意向アンケート」を実施いたしました。アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。アンケートの集計結果については、以下のとおりです。

【アンケート結果について】

①回答状況の概要

- ・ 案内状送付数 66 名 ※共有持分各権利者・代理人への発送も含む
- ・ アンケート回答数 42 名

②アンケート回答比率（有効回答：42名）



アンケートにて頂戴したご意見につきましても別紙にてご紹介しておりますので、併せてご確認ください。

～準備組合設立に向けてのご案内～

準備組合の新役員を募集いたします

今後開催予定の準備組合設立総会では、新役員（理事長・副理事長・理事）を選任することになります。準備組合の意思決定に積極的に参画したい方、新役員に立候補したい方がいらっしゃいましたら、下記【お問合せ先】までご連絡ください。

皆様へのお願い

本検討会の規約第4条第3項には「会員が所有権又は借地権を有する対象区域内の土地を転用又は第三者へ転売等する場合は、土地利用計画等について役員会と事前に協議しなければならない。」と定められています。土地の転用・転売等をする場合は下記の問合せ先までご連絡ください。

お手数ですが、地区内の土地又は建物の権利の移動が生じた場合（例：相続が発生した場合）や住所移転、連絡先などに変更が生じた場合（例：引越しなどで転居された場合）も、下記の問合せ先までお知らせください。

また、まちづくりが進むにつれて、企業等から皆様へ土地の売買などに関する接触が予想されます。皆様方におかれましては、慎重にご判断いただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

【お問合せ先】 ご不明点、ご意見、ご質問、お気づきの点等がございましたら、お問い合わせ下さい。

高田二丁目地区まちづくり検討会 （会長）初木 賢司 （副会長）北口 誠・堀澤 広孝
枚方市 都市整備部 市街地開発課 （担当）伊牟田・岡本・荘司・米田・仲森

TEL：072-841-1423（直通）

FAX：072-841-4607

E-mail：shigaichiseibi@city.hirakata.osaka.jp

開庁時間：午前9時から午後5時30分まで

（土日・祝日・年末年始を除く）

事業協力者 （株）エスコン

（担当）澁谷・羽間

【事業推進に係る意向アンケート】にて頂戴したご意見

※ご意見は個人情報保護の観点から一部抜粋の上、要約し記載しています。

①事業を進めてほしい

後継者がいないため、減歩率が悪くても事業を進めてほしい。
周囲(茄子作や高田一丁目など)の状況を考えると、ぜひまちづくりを進めていかないといけないと思う。
このチャンスを逃すと市街化区域編入は今後も不可能であるとする。ただ、減歩率が少しでも低くなるよう検討は続けて欲しい。
年齢的にも整理をしておきたいため売却を希望。是非事業を進めてほしい。
高齢のため早く進めてほしい。
高齢になるため事業が形になり子孫に残したい。
地域の発展に寄与するため、事業を進めてほしい。

②事業を中止してほしい

土地面積が少ないため、貸すことができないと思う。
居住を続ける。減歩率では事業に無理がある。交通量増加・騒音・日当り悪化を懸念している。
車両の出入り増加を懸念している。

③その他

土地がわずかになりどうすべきか分からない。また固都税が上がることも懸念している。
現時点では判断が難しい。事業の必要性については理解しているものの減歩率の大幅な上昇については納得できる状況ではない。減歩率を少しでも抑えるための検討をお願いしたい。十分に納得できる内容となった上で改めて判断したいと考えている。
市街化・開発事業には賛成だが、今回の事業推進についてはいくつかの不安材料・疑問点がある。
減歩率が下がるのであれば賛成したい。